



●サスペンス映画もどきの危険と上映会 という奇妙な組み合わせ●

ある講堂の屋上に女性7～8人が人質にとられ、
男の犯人にライフルを突きつけられて『数名ずつ殺
されていく』のを心配している。なお、講堂では映画
会を上映中で、数名は帰還するが他の人は殺さ
れ、自分はヤキモキする

* 登場人物: 犯人の男、群衆、自分

<Information> 1978年8月24日(木) 夢の採取



◎日常生活での睡眠

・ {付録記載 }

～ここ数日、夜中に上着を
無意識に脱いでじゅうたんの
上で寝たりしていたのが、い
つの間にかベッドの上にと
りす。しかし、本人は全然
気づいていない。